

# 愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2011年6週 (2月2週 2/7~2/13)

2011年1月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail : [eiseiken@pref.aichi.lg.jp](mailto:eiseiken@pref.aichi.lg.jp)

連絡先 : 052-910-5619 (企画情報部)

## 今週の内容

### トピックス

インフルエンザ、集団かぜの発生について、  
 感染性胃腸炎、結核  
 病原体検出情報  
 定点医療機関コメント  
 インフルエンザ、伝染性紅斑、感染性胃腸炎 等

全数把握感染症発生状況 ( )内は件数。

結核(19)、腸管出血性大腸菌感染症(1)、デング熱(1)、レジオネラ症(1)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)、後天性免疫不全症候群(1)、ジアルジア症(1)、梅毒(1)

2011年1月報

定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

## トピックス

### インフルエンザ (図1) [警報発令中]

6週目の定点当たり報告数は37.0、5週目7,370人、6週目7,217人です。2010/2011シーズンに病原体定点から寄せられた198検体のうち、23検体から新型AH1pdm、17検体からAH3、17検体からB型(Victoria系統)、1検体からB型(山形系統)インフルエンザウイルスが検出されました。

#### 【参考ページ】

インフルエンザ警報を発令します! (1月26日)

<http://www.pref.aichi.jp/0000037862.html>

インフルエンザのホット!と情報(豊橋市)

[http://www.city.toyohashi.aichi.jp/bu\\_kenkou/kenkouseisaku/influenza\\_hot.html](http://www.city.toyohashi.aichi.jp/bu_kenkou/kenkouseisaku/influenza_hot.html)

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ

[http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ\\_map\\_new.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ_map_new.html)

2010/11シーズンインフルエンザウイルス分離・検出状況 [http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri10\\_11.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri10_11.html)

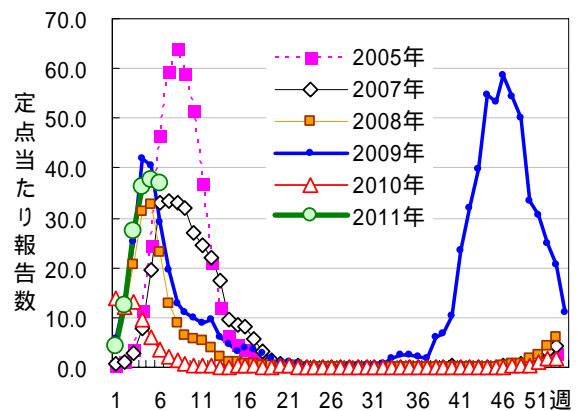


図1 インフルエンザ

[2009年31週から新型インフルエンザ(A/H1N1)を合わせた報告]

### 集団かぜの発生について(健康対策課新型インフルエンザ対策室発表)

	発表日	管轄保健所	ネットあいち URL
第22報	2月10日	津島	<a href="http://www.pref.aichi.jp/0000038581.html">http://www.pref.aichi.jp/0000038581.html</a>
第23報	2月14日	一宮、瀬戸、半田、春日井、豊川、津島、西尾、江南、知多、師勝、衣浦東部	<a href="http://www.pref.aichi.jp/0000038611.html">http://www.pref.aichi.jp/0000038611.html</a>
第24報	2月15日	一宮、瀬戸、半田、春日井、津島、江南、知多、師勝、衣浦東部	<a href="http://www.pref.aichi.jp/0000038670.html">http://www.pref.aichi.jp/0000038670.html</a>
第25報	2月16日	瀬戸、春日井、豊川、津島、西尾、知多、衣浦東部	<a href="http://www.pref.aichi.jp/0000038721.html">http://www.pref.aichi.jp/0000038721.html</a>

### 感染性胃腸炎

6週目の定点当たり報告数は8.47、5週目1,745人、6週目1,542人です。

### 結核 (図2)

2011年1月の報告数は133例(うち無症状病原体保有者37例)でした。2010年総計は2,037例(同351例)、2009年総計は2,068例(同341例)でした。

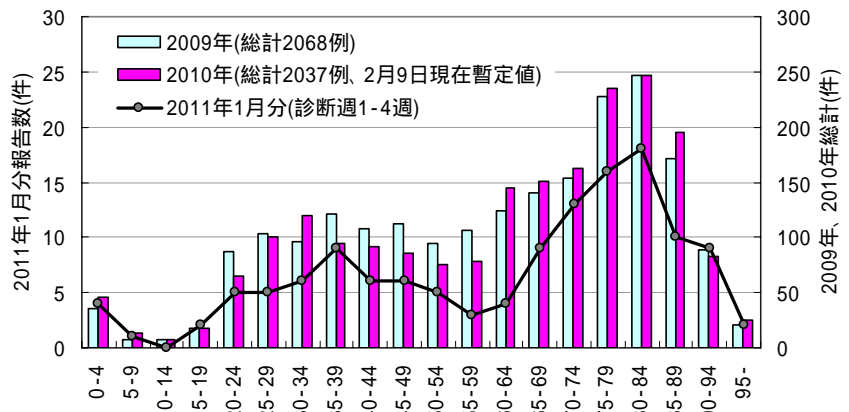


図2 結核の年齢階層別報告数(愛知県、無症状病原体保有者含む)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎 脳症	インフルエンザ	麻疹
患者数	341	92	79	10	32	38	29	463(198)	16(28)
PV-1	2								
PV-2	1								
PV-3	2								
CV-A4		1	25				1		
CV-A5			11						
CV-A6		7	6						
CV-A10			5						
CV-A16		3				2			
EV-71		54	1			5			
CV-B1			1						
CV-B2			1						
CV-B3	1								
CV-B4	5		1			6			
CV-B5						1			
CV-A9			1						
E-3	1		1						
E-6						2			
E-25	1	1	1			1			
E-30	1								
HPeV-1	1					1			
HPeV-3		1							
FluAH1pdm								373(23)	
FluAH3								3(17)	
FluB								7(18)	
MeV									7(10)
Rota A G1	10								
Rota A G2	1								
NV-G	6								
NV-G	105								
SV	2								
AstV	6								
Ad-1	3								
Ad-2	4	2					1	2	1
Ad-3	11			5	1			1	
Ad-4	1								
Ad-5	5								
Ad-6				1					
Ad-7				1					
Ad-37					4				
Ad-41	18								
Ad-D					1				
B19V									2(3)
検査中	76		1		3	4		0(134)	1(10)
陰性	103	25	24	3	23	17	27	77(6)	5(5)

インフルエンザは 2009/2010 シーズン、( ) 内は 2010/2011 シーズン(別掲)の検査結果。

麻疹は 2011 年 1 月分を含み、( )内は病原体定点医療機関以外からの患者数(別掲)。

略：ウイルス名(他の略名) Ad：アデノウイルス、AstV：アストロウイルス、B19V：ヒトパルボウイルス B19、CV：コクサッキーウイルス(Cox.)、E：エコーウイルス、EV-71：エンテロウイルス 71 型、FluAH1pdm：新型インフルエンザウイルス、FluAH3：A 香港型インフルエンザウイルス、FluB：B 型インフルエンザウイルス、HPeV：ヒトパレコウイルス、MeV：麻疹ウイルス、NV：ノロウイルス、PV：ポリオウイルス、Rota A：A 群ロタウイルス、SV：サボウイルス

関連ページ 1)「疾患別ウイルス検出情報」<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

2)「2010/11 シーズンインフルエンザウイルス分離・検出状況」

[http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri10\\_11.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri10_11.html)

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

インフルエンザ A型21人、B型32人。B型は小中学生に多いようです。

感染性腸炎ロタ陽性例あり。

【一宮市 あさのこどもクリニック】  
インフルエンザ85%以上がB型。

【一宮市 後藤小児科医院】  
マイコプラズマ感染症 1名。

【一宮市 ささい小児科】  
インフルエンザ 87名(A型55名、B型32名)。

【一宮市 一宮市立市民病院】  
インフルエンザ A型30名、B型5名です。  
【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】  
インフルエンザ減少してきましたが、水痘が目立ちます。

【犬山市 武内医院】  
インフルエンザ59名(A型26名、B型33名)  
B型が増加傾向です。

溶連菌感染症も流行続いています。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

2/7 11歳 インフルエンザB型。

【扶桑町 いずみ内科】

インフルB型21名、インフルA型43名(うちH3N2 6名)。

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】  
3歳男及び1歳男ロタ

インフルエンザ症減少傾向の様です。全てA型です。

【清須市 丹羽医院】

インフルエンザB 1名

【北名古屋市 田中クリニック】

インフルエンザA型 17名。

インフルエンザB型 3名。

【津島市 医療法人参育会加藤医院】  
インフルエンザA型5名、B型19名でした。

【愛西市 医療法人谷本医院】  
インフルエンザB型 25名。

【弥富市 医療法人すずきこどもクリニック】

尾張東部地区

インフルエンザA型多く、B型は10名。  
伝染性紅斑もみられます。

【瀬戸市 津田こどもクリニック】  
インフルエンザA型30名、B型2名。  
アデノウイルス感染症も多くみられます。  
その他、溶連菌感染症、伝染性紅斑など。

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】  
インフルエンザA型32人、B型134人。  
Aに罹患してから8日目にBに罹患した人あり。

【豊明市 こども元気クリニック】  
インフルエンザ多数続発中。  
感染性胃腸炎増加。  
手足口病、りんご病少々。

【春日井市 朝宮こどもクリニック】  
インフルエンザはA型43例、B型34例、A Bともに陽性1例でした。

その他、溶連菌感染、伝染性紅斑が増加しています。

【小牧市 志水こどもクリニック】  
27歳女 アデノウイルス(+)

【春日井市 竹内医院】  
インフルエンザは横ばい。小児は増加中。

【小牧市 小牧市民病院】  
インフルエンザ A型62名、B型87名。

【春日井市 医療法人聡彩会片山こどもクリニック】

当院近辺では、A、Bともインフルエンザがみられます。

【春日井市 かがわこどもクリニック】  
インフルエンザA型男2名、女7名、B型男6名、女10名。

インフルエンザB型が増えています。

【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】  
B型インフルエンザが増えています。  
ムンプスも増えています。

【春日井市 春日井市民病院】  
A型インフルエンザ 25名  
B型インフルエンザ 51名

【半田市 医療法人敬おっかわこどもクリニック】  
A型インフルエンザ 10名  
B型インフルエンザ 11名

【南知多町 医療法人大岩医院】  
インフルエンザA 11名  
インフルエンザB 9名  
インフルエンザA B不明 1名

【半田市 医療法人林医院】  
インフルエンザ A型12名 B型3名  
流行性耳下腺炎がちらほら続いています。

【東海市 もしもしこどもクリニック】  
インフルエンザA型 15名 B型 60名  
1歳男、2歳女、3歳男、4歳男 ロタウイルス(+)

【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

StrepA(+) 6名  
ラピッドテスト ロタ(+) 1歳男  
インフルエンザA型 6名  
インフルエンザB型 9名  
インフルエンザ(A、B不明、臨床診断)5名  
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】  
インフルエンザA型 5名  
インフルエンザB型 36名  
マイコプラズマ 6名  
【豊田市 すくすくこどもクリニック】  
インフルエンザ陽性 A型 16名  
B型 2名  
【豊田市 厚生連足助病院】  
インフルエンザ A型12名、B型41名。B型は下痢、嘔吐をともなうものあり。  
マイコプラズマ肺炎あり、11歳男。  
【岡崎市 花田こどもクリニック】  
インフルエンザ感染症多いですが、先週と比べて減少傾向(B型は約32%)。  
伝染性紅斑変わらず散見されます。  
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】  
インフルエンザA型19名、B型41名  
【岡崎市 にいのみ小児科】  
1歳男 病原性大腸菌O25  
2歳、5歳男 アデノウイルス扁桃炎  
インフルエンザA型30名、B型64名  
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】  
インフルエンザA型39名、B型107名  
【岡崎市 医療法人志貴こどもクリニック】

インフルエンザ合計35名(A型9名、B型27名)  
1名はA、B型同時(+)  
【岡崎市 栗屋医院】  
インフルエンザA型37名、B型57名  
【岡崎市 医療法人永坂内科医院】  
インフルエンザはB型が半数を占め、家庭内での感染が顕著でした。  
【岡崎市 村山医院】  
インフルエンザ続いています。(ひどい流行という感じではありません)  
【碧南市 永井小児クリニック】  
インフルエンザA 30例  
インフルエンザB 30例  
マイコ気管支炎 2例(3歳、7歳)  
【刈谷市 田和小児科医院】  
インフルエンザA 40名  
インフルエンザB 21名  
【知立市 宮谷クリニック】  
インフルエンザが流行しています。  
【みよし市 みよし市民病院】  
ヘルペス口内炎 3歳女  
【西尾市 やすい小児科】  
インフルエンザ88人と急増(A型46人、B型42人)。  
カンピロバクター腸炎 33歳女  
【西尾市 山岸クリニック】

東三河地区

インフルエンザA型流行中  
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】  
インフルエンザA型15名、B型2名  
【豊橋市 おだかの医院】  
インフルエンザA型45名、B型7名 合計52名  
【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】  
咽頭結膜熱 3歳女  
【豊橋市 富安眼科】

インフルエンザA 36件  
インフルエンザB 5件  
【豊川市 豊川市民病院】  
インフルエンザA型 43名  
インフルエンザB型 11名  
B型の比率が増えています。  
【豊川市 ささき小児科】  
ロタ 男3歳 1人  
【蒲郡市 蒲郡市民病院】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2011年2月16日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 [http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki\\_jun110201.pdf](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki_jun110201.pdf)

結核（二類感染症）

報告保健所	2011年6週報告数			2011年累計(1～6週)		
	総数	喀痰塗抹検査陽性者数再掲	無症状病原体保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査陽性者数再掲	無症状病原体保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	9	2	2	75	23	14
豊田市				6	2	
豊橋市				4		1
岡崎市				5	1	3
一宮	2			10	3	2
瀬戸	1	1		14	3	2
半田	1		1	7	3	2
春日井	2	2		9	2	4
豊川	1		1	7	1	6
津島	1			4	1	1
西尾				4	3	
江南				6	1	2
新城				1	1	
知多	2		2	17	3	10
師勝				5	2	1
衣浦東部				10	2	4
合計	19	5	6	184	51	52

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	一宮	28歳	女	1/24	1/27	2/7	O157、VT1(+)/VT2(+)

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

デング熱（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	知多	28歳	男	デング熱	インドネシア

レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	瀬戸	72歳	男	肺炎型	国内

劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	豊川	77歳	男	国内

後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	36歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内

ジアルジア症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	津島	39歳	男	インド

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	30歳	男	早期顕症	性的接触	国内

2011年1月報 (2011年2月9日現在、診断週に基づく集計)

1月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔( )は無症状病原体保有者再掲。〕

2009～2011年に報告のあった 疾病名及び病型 ( )内は全数把握対象疾病数		2011年1月			2010年 総計 <愛知県全体>	2009年 総計 <愛知県全体>
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体		
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (5)	結核	81 (26)	52 (11)	133 (37)	2,037 (351)	2,068 (341)
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	細菌性赤痢	1 (0)	0 (0)	1 (0)	11 (0)	13 (0)
	腸管出血性大腸菌感染症	3 (1)	4 (2)	7 # (3)	237 (56)	206 (53)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
	パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	3 (0)
四類 (42)	E型肝炎	0	1	1	3	2
	A型肝炎	0	0	0	13	5
	オウム病	0	0	0	4	1
	つつが虫病	0	0	0	2	5
	デング熱	0	0	0	21	6
	日本紅斑熱	0	0	0	0	1
	ブルセラ症	0	0	0	1	0
	マラリア	0	0	0	1	0
	ライム病	0	0	0	0	1
	レジオネラ症	0	0	0	43	47
五類 (14)	アメーバ赤痢	1	1	2	53	55
	ウイルス性肝炎	1	0	1	17	17
	内訳					
	B型	1	0	1	16	11
	C型	0	0	0	1	6
	急性脳炎	2	0	2	8	35
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	8	8
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	11	10
	後天性免疫不全症候群	2	7	9	138	86
	内訳					
	無症候性キャリア	0	5	5	73	43
	AIDS	2	2	4	56	32
	その他	0	0	0	9	11
	ジアルジア症	0	0	0	1	1
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	1	1
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	1
	梅毒	3	2	5	53	46
	内訳					
	無症候	1	0	1	23	19
	早期顕症	2	2	4	27	26
	晩期顕症	0	0	0	3	1
	先天梅毒	0	0	0	0	0
	破傷風	0	0	0	3	5
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	2	1
	風しん	0	0	0	3	10
	麻しん	4	0	4	32	29
	総計	98	67	165	2,704	2,666

#; 0157; 7件

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2011年1月			2010年 総計	2009年 総計
		愛知県 <small>&lt;名古屋市除く&gt;</small>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	66	60	126	1,680	1,695
	性器ヘルペスウイルス感染症	22	14	36	609	631
	尖圭コンジローマ	11	11	22	355	447
	淋菌感染症	24	28	52	822	692
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	97	16	113	1,239	1,090
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	13	6	19	238	146
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	4	5

感染症の類型及び定義(感染症法)

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。鳥インフルエンザ(H5N1)が平成20年5月12日の法改正により従前の四類感染症鳥インフルエンザから除かれ、二類感染症に追加された。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (42疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (42疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

愛知県感染症情報

2011年6週(2011年2月7日～2011年2月13日)

愛知県衛生研究所

	定点数					RSウイルス感染症	*インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																		
愛知県 (保健所別)																							
愛知県 (名古屋市含む)	195	182	35	54	17	48	7,217	49	252	1,542	235	28	43	103	1	6	74	0	13	0	0	8	1
総数 (名古屋市を除く)	125	112	24	39	12	32	5,772	38	204	1,037	194	15	37	79	1	4	66	0	10	0	0	7	0
名古屋市(16保健所)	70	70	11	15	5	16	1,445	11	48	505	41	13	6	24		2	8		3			1	1
瀬戸	9	9	2	3	1	2	578	5	7	83	14	3	4	4	1	1	1						
津島	7	7	2	2	1		292	1	12	144	27	4	3	6		1	13					1	
師勝	4	4	1	1			118		2	18	1			1			3		1				
一宮	16	12	3	4	1	7	432	3	21	64	14		2	10			9		2			3	
春日井	9	9	2	3	1	7	494	4	24	79	10	2	7	5			7						
江南	6	6	1	2		6	236	4	30	64	26	1	4	4			3		2				
半田	6	6	1	2	1	2	262	1	18	83	8			4			1						
知多	7	7	2	2			327	2	4	38	2		1	2			4						
岡崎市	11	7	2	4	1		743	1	20	26	17	3	9	8		1	3						
衣浦東部	13	13	2	4	1		786	5	33	98	31	1	3	17			5		2				
西尾	5	5	1	2	1		261		10	53	6		2			1	2		1				
豊田市	9	9	2	4	1	2	642	1	14	73	11		2	4			4		1			1	
豊橋市	12	8	2	4	1	3	309	4	2	116	13			9			4					2	
豊川	9	8	1	2	1	3	270	6	6	98	14	1		5			7		1				
新城	2	2			1		22	1	1														

\*新型インフルエンザ(A/H1N1)を合わせた報告



愛知県感染症情報

2011年6週(2011年2月7日～2011年2月13日)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	RSウイルス感染症	*インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び エンザ等感染症を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)
計	32	5,772	38	204	1,037	194	15	37	79	1	4	66	0	10	0	0	7	0
～6ヶ月	12	22		1	9	5			5									
～12ヶ月	6	49			61	4	1		41		1							
0歳																		
1歳	8	156	7	8	182	19	7	3	30		1	1						
2歳	4	158	8	10	113	47	2	3	3		1	8						
3歳		274	9	19	106	33	4	7				6					1	
4歳		378	7	36	103	36		5		1		16		2				
5歳		449	2	32	78	24	1	7				17		1				
6歳		550	2	35	71	16		3				9						
7歳	1	560	1	19	47	2		1			1	4						
8歳		541	1	10	40	4		2				1						
9歳	1	473	1	11	38	1		2				1						
5歳～9歳																		2
10歳～14歳		1073		15	62	3		3				3						3
15歳～19歳		105			12			1						1				
20歳～				8	115													
20歳～29歳		318												2				
30歳～39歳		336												1				
40歳～49歳		154												1				
50歳～59歳		96																
60歳～69歳		51																1
70歳～														2				
70歳～79歳		22																
80歳以上		7																

\*新型インフルエンザ(A/H1N1)を合わせた報告